

昭和町子育て支援センター基本計画に関するパブリックコメント いただいたご意見と町の考え方

番号	該当頁	ご意見	町の考え方
1	8、9	事業用地の場所は非常に良いと思う。予算が適正か確認が取れるように、地権者の数、周辺の土地売買価格等を示してほしい。	用地取得にあたっては不動産鑑定を行い、進めていきます。また、個々の内容については、公表する予定はありません。
2	15	防災機能の設置もあると不特定多数の地域住民の利便性にも寄与するので、設置を進めてほしい。	防災機能の設置については、計画に記載の通り検討を進めていく予定です。詳細については実施設計において検討を進めたいと思います。
3	21	構造種別の選定 平屋を検討しているのであれば、空間の確保・コスト・工期を考えると鉄骨構造が望ましい。	構造種別については、基本計画段階においては耐火・耐震・遮音等の性能に優れ耐用年数が高い鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）の採用を検討していますが、実施設計を行う中でコスト等を考慮しながら具体的な検討を行います。
4	8	事業用地の選定 「行政機能の集約化」もいいが、押原公園の芝生・緑を活用する用地の検討が望ましいことと、また、釜無工業団地グラウンドを活用することで用地購入費用が不要なく、築地新居区の防災公園としての機能を持たせることにより子育て世代から高齢者まで利用できる施設を建設することが昭和町にとって望ましいと考える。	用地選定においては、行政機能の集約化に加え、特に子育て支援センターと親和性の高い児童館や図書館との連携や交通利便性等を総合的に検討した結果、役場周辺が望ましいと考えています。 社会福祉士や保健師を配置している総合会館とも近いため、子育て世代へのきめ細かい支援を行うためにも現案での立地を計画しました。
5		乳幼児だけでなく、放課後や休みの日は小学生以上の子どもも遊びに行けたり、居場所ができると良いと思う。	子育て支援センターは、未就学児とその保護者が気軽に集える居場所作りをコンセプトとしているため、基本的には、小学生以上の児童の利用は想定していません。未就学児の小学生以上のきょうだいが、保護者と未就学児と一緒に利用したい場合の対応については、いただいたご意見を参考に今後検討いたします。
6		夕方まで利用できると良い。	運営検討段階において、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
7		インクルーシブ遊具や多目的トイレ(ユニバーサルシート)などがあると障がいがある親子も利用しやすいと思う。	実施設計段階において、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

番号	該当頁	ご意見	町の考え方
8	5	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和町都市計画マスタープラン 地域との連携による「コミュニティスクール」の充実 ファミリーサポート事業の有効活用など ・第4次昭和町地域福祉計画 基本方針2－基本施策2 子どもと育つ地域づくり の6つの方針 ・第3期昭和町子ども・子育て支援事業計画 センターでは、保育士や保健師を配置し、発達が気になる親子の支援など、新たな子育て支援の充実を図る 上記のプラン・計画の施策を特に子育て支援センターの役割として重視して欲しい 保育士・保健師の配置のみではなく、場合によっては、精神福祉士、社会福祉士の配置も視野に入れたらどうか(予約による相談を受けるときなど) 	<p>運営検討段階において、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>
9	6	<ul style="list-style-type: none"> ②子育てセンターにあると良い機能のうち ・ランチが取れるスペース ・保育士に相談出来るスペース ・図書・絵本の閲覧等 ③その他の要望のうち ・土日祝日の利用 ・町民優先の予約枠 ・授乳室・お昼ご飯を食べられるスペース ・相談できるスペース 特にランチスペース・相談スペースについては、要望が多いように思う 保護者同士がくつろいでランチができる場所 相談者が周囲に気兼ねなく相談出来る場所は特に必要だと思う 	<p>ランチについては、交流スペースにテーブル等を設置し飲食ができるよう検討を行っています。相談機能については、相談室を2室設け、プライバシーに配慮した配置を行います。</p> <p>図書・絵本の閲覧、土日祝日の利用、町民優先の予約枠等については、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>

番号	該当頁	ご意見	町の考え方
10	19	(2)配置の考え方 車椅子やベビーカーの利用を想定する とあるが、室内配置イメージ図では、ベビーカーを玄関横に置くようになっている。ベビーカーや車椅子を乗り入れられるようにできないか	実施設計段階において、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
11	20	(A-2案)がよいと思う ・子育て支援室と洗濯・給湯室は壁で仕切らず行き来しやすいような仕組みにした方がよいと思う ・絵本ゾーンについては、別添の(屋久島子育て支援センター)を参考にしたい	実施設計段階において、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
12	14	・交流スペースの自動販売機については、施設の清潔・衛生を考えると、おむつ等に絞った方がよいのではないかと。ママたちのランチは専門の店に行けばよいと思う。汚れたら床の張替えが可能なのか？ ・プレイルームの遊具に、親子で遊べるボードゲームなど、動きの少ない子の遊びも必要なのではないか。	・飲食ができるスペースや軽食の販売は子育て世代からの要望が強く、子育て支援センターの基本的な考え方である「孤立させない子育て」のために保護者同士のつながりをつくるという面でも重要なものと考えています。床については、交流スペースにおいてはクッションフロアやフローリングなど、汚れを拭きとりやすい素材の採用を検討します。 ・プレイルームの遊具については、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
13	17	・B案の配置図がないので、A案ありきの素案では？B案の配置図を見て、部屋の配置を考えるほうが良いと思う。造ってからこんなはずじゃ！では困る。 ・駐車場は1つにまとまっている方が子連れの利用者にとって利用しやすいのではないかと。(B案)移動する場合、リスクが伴う。 ・外遊びのしやすい時期を考えると秋・冬になるため、南側に園庭がある方がよいと思う。(夏に外遊びはさせない) ・支援センターと図書館との連携について、B案でも人の移動は十分に可能かと思う。図書館とは利用年齢層が違うのではないかと？連携する必要があるのか？	・配置については、A案ありきで進めるものではなく、実施設計においてB案も含めたより詳細な検討を行うこととしています。 ・駐車場や園庭の配置については、実施設計段階において、いただいたご意見を参考にさせていただきます。 ・子育て支援センターでは、絵本の読み聞かせを行うことを考えております。親子が絵本を楽しむきっかけになり、図書館が隣接していることにより、興味を持った絵本をすぐに借りに行けるという利点があります。また、図書館と連携することによって、親子の学びや育ちを支える場としての役割も強めることができるので、図書館が隣接していることでのメリットは大きいと考えています。

番号	該当頁	ご意見	町の考え方
14	20～	<p>(授乳室について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、乳児健診にも父親が子どもを連れてくる場合も増えている。また、授乳は母親だけがすることではないけれども、女性はそこに男性がいるということに抵抗がある人もいるので、事前にミルク用の部屋には「パパも利用可能」と伝えておく必要があると思う。 ・父親がミルクをあげることも想定すると、母乳用の部屋、ミルク用の部屋が分かれている方が良いのではないか。分けるのは、入り口がミルク用、奥が母乳用で、母乳用は鍵が必要だと思う。ミルク用の部屋の仕切りはカーテンでも良いのではないかと思う。 ・施錠も、個室ごとにできると良い。 ・部屋が無機質にならないよう、デザインもかわいらしくすることで、居心地のよい場所になると良い。 <p>(ベビーカー置き場について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベビーカー置き場は玄関外に設けられているが、子どもをベビーカーから下ろし、荷物の準備をすることを考えると、室内にベビーカー置き場兼支度用スペースがあると、利用しやすいと思う。ベンチなど腰を下ろして支度ができたらなおよいと思う。 <p>(ウッドデッキについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウッドデッキには、庇があると良い。 <p>(子ども用トイレ、シャワー室について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供用トイレは、安全に使えるトイレにしてほしい。また子ども用シャワーも、外から丸見えにならない作りしてほしい。 ・父子で利用する方も想定し、男性用トイレの個室にも子ども用の待機椅子が欲しい。 	<p>実施設計段階において、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>

番号	該当頁	ご意見	町の考え方
15	23	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置の中に、常にだれか1人は保健師がいると、相談先として助かるのではないか。 ・来場者にイベントの日程や、その日にいるスタッフ（職種や人数）が、月単位等のスケジュールとして閲覧できると、利用しやすいかと思う。 	<p>運営検討段階において、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>
16	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・このプロジェクトに乳児検診などを受け持っている保健師が関わっていないのが疑問です。健康相談は専門の資格のある保健師が駐在することで、利用者の安心感にもつながる。いきいき健康課までではないけれども、保健師さんがいるなら聞いてみたいという方もいると思う。また、子どもを連れての移動は、天気や子どもの様子でも左右されるので、交代制や曜日制であっても保健師の駐在を希望したい。 ・北杜市の健康センターには保健師が常駐している。 ・子育て支援課とファミリーサポートと図書館メインで考えているのでは？と思える節がたくさんあります。 ・昭和町で建てるのだから、子育て支援課だけではなく、横のつながりを持ってもらいたい。 ・子育て中のママの参加も非常に大切なことでもあります。上記の保健師の駐在や父子の利用頻度など、利用者では気づかない点もたくさんあると思う。 ・他市町のセンターを参考にすれば、今の他市町と同列になってしまいます。この先の年数を考えるのであれば、この先に必要なことを取り入れ、昭和町独自のものも考えていくことも必要だと思う。 	<p>いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>